

第 1 回有識者分科会の主な意見（平成25年7月21日）

項目	発言要旨
基本方向及び将来像	<p>○関西地域が持っている個性や強みや特徴が広域レベルの分野事務の政策に生きてくる。これをもう一度明らかにして、それぞれの分野でどういう強みがあるのか示すべき。</p> <p>○「個性や強みを活かし地域全体が発展する関西」ということはわかるが、「アジアのハブ機能を担う新首都・関西」ではわかりにくい。アジアで関西をどのように位置付け、アジアにとって不可欠の関西に位置付けていくかという視点が必要であると考えているが、この言葉ではわかりにくい。将来像の 6 番目との整理も必要。</p>
既存 7 分野の広域事務	<p>○4月13日の淡路島沖地震に係る広域連合の対応について総括することが必要。</p> <p>○既存の 7 分野事務は分野別計画を策定し、新たな取組である文化や農林はビジョンや指針が策定されつつある段階にあるが、今後は、これを適切に実行し、ブラッシュアップしていくことが大事。</p> <p>○クリエイティブインダストリーとしての文化振興と、文化振興が既存の産業振興と融合することによって発展する面がある。</p>
企画調整事務	<p>○首都機能バックアップにおいて、全部の機能を引き受けるということではなく、国と関西広域連合の役割を明確にすべき。</p>
地域の活性化（地域振興）	<p>○関西広域の中で大都市があって地方がある中で、都市と農村などうまく交流を活発にしていくことによって、府県を超えて地域の活性化、あるいは地域振興につながるのではないか。</p> <p>○各府県内でも各々で取り組んでいるが、府県を超えてオール関西という視点で各府県内地域と連携が可能なのかという観点での地域振興をそろそろ考えるべき。</p>

<p>国の事務・権限の移譲</p>	<p>○国から事務権限の移譲を実現して、成果を示すことが連合の意義。国に対して連合に事務を移譲すればこんなことができるということを次の計画でも示してほしい。</p> <p>○広域連合でできるというような視点で権限を取ってくるのではなく、連合でやることによってよりよいものになるんだということを強く打ち出さないと意味がない。連合でやるメリットを打ち出すべき。連合で取り組むことでよりよいシステムになるんだという視点を書き込むべき。</p> <p>○地域振興に係る広域的な計画は広域連合の重要な役割。これは広域連合の本来業務であるが、骨子案に記載しているような位置づけでいいのか疑問。</p> <p>○広域連合は府県・政令市・市町村と密接に連携しながら広域的な計画を策定するのが重要なポイントであり、近畿圏広域地方計画を策定すれば、関西地域内で調整されたものが出てくるという優位さを全面に打ち出すべき。</p> <p>○近畿圏広域地方計画の策定権限を広域連合に求めるに当たり、権限移譲がないと何もできないのではなく、広域連合に任せれば、各府県の意見を調整してこれが広域連合の方針である又は全体最適だということを示すことができれば、国から権限を移譲してもら第1歩になる。全体として調整能力を示すことが大事。</p> <p>○広域連合が近畿圏広域地方計画の案を出すことは実質的に可能ではないか。この計画を策定するときには、全国計画に示された基本的な考え方（地域特性の把握や地域戦略の立案など）を踏まえて作ってはどうか。</p>
<p>住民に対する情報発信、構成団体内市町村との連携</p>	<p>○住民に対する情報発信や市町村との連携は重要であるが、広域的な事務を行っている連合が直接に住民にメリットを働きかけるよりも、市町村との連携を図るべきである。</p> <p>○連合の意義・位置付けを住民に示していくことが大事。</p> <p>○今の広域連合で住民や市町村に対し、メリットを感じさせ、見せるのは難しい。むしろ、これから先の連合が事務権限を移譲された将来の姿をアピールしていくことが必要。そういう将来の姿を実現に向けて市町村との意見交換も必要。</p> <p>○広域連合の役割として広域調整的役割が重要。分野間の調整も必要だが、府県、大都市、市町村が担っている役割を改めて明確化するため、それぞれの団体との調整も必要。</p>
<p>計画の推進</p>	<p>○監視や評価機能がきちり働かないとガバナンスが崩れる。</p> <p>○関西広域連合があることによって、色々な施策がうまくいっているという強みを把握するような評価の観点に変えていくべき。</p> <p>○今のところ齟齬はないと思うが、社会情勢の変化にも対応し、広域計画と分野別計画の整合性を図ってほしい。</p>

